

都市交通研究室 2025年度卒業研究

指導教員：環境都市工学科 小川 圭一 教授

都市交通研究室では、都市の人々の交通行動の分析や、交通現象の分析に関する研究をおこなっています。2025年度には、以下のような研究テーマを考えています。交通行動や交通現象に興味のある方をお待ちしています。なお、研究室でのさまざまな活動は「計画系分野の研究室」の一員として、防災まちづくり研究室(大窪健之教授)、都市計画研究室(岡井有佳教授)、交通マネジメント工学研究室(塩見康博教授)、都市地域デザイン研究室(金度源准教授)と連携しておこなっています。

2025年度卒業研究テーマ(予定)



【自動車交通に関する研究】

自動車交通は非常に便利である反面、交通渋滞、交通事故といったさまざまな問題も抱えています。交通渋滞や交通事故をできるだけ少なくするためには、それらの原因となるドライバーの運転行動を分析し、そのような行動が少なくなるような道路整備や、交通管理、交通制御をすることが必要になります。

この研究では、自動車利用者や横断歩行者の行動分析を通じて、自動車交通の渋滞対策、安全対策などについて考えます。



【自転車・二輪車交通に関する研究】

立命館大学 BKC では、多くの学生が自転車や二輪車で通学しています。このため BKC 周辺では、通学時間帯に大量の自転車や二輪車が集中し、交通渋滞、交通事故なども発生しています。

自転車や二輪車の行動特性は歩行者、自動車とは異なるため、その行動予測や安全対策の考え方も異なります。

この研究では、自転車や二輪車の走行特性についての分析をおこない、安全な自転車交通、二輪車交通のための道路空間整備について考えます。

【歴史都市防災に関する研究】

多くの文化遺産をもつ歴史都市では、災害時においても文化遺産を適切に守ることが必要になります。また、歴史都市は観光都市でもあり、災害時には市民とともに観光客の安全を図ることも重要になります。

この研究では、歴史都市における観光客の交通行動分析や、避難誘導方法の検討をおこないます。また、歴史都市や文化遺産の防災の重要性について考えるため、それらに対する社会的な着目度の分析や、観光資源としての文化遺産の評価をおこないます。

